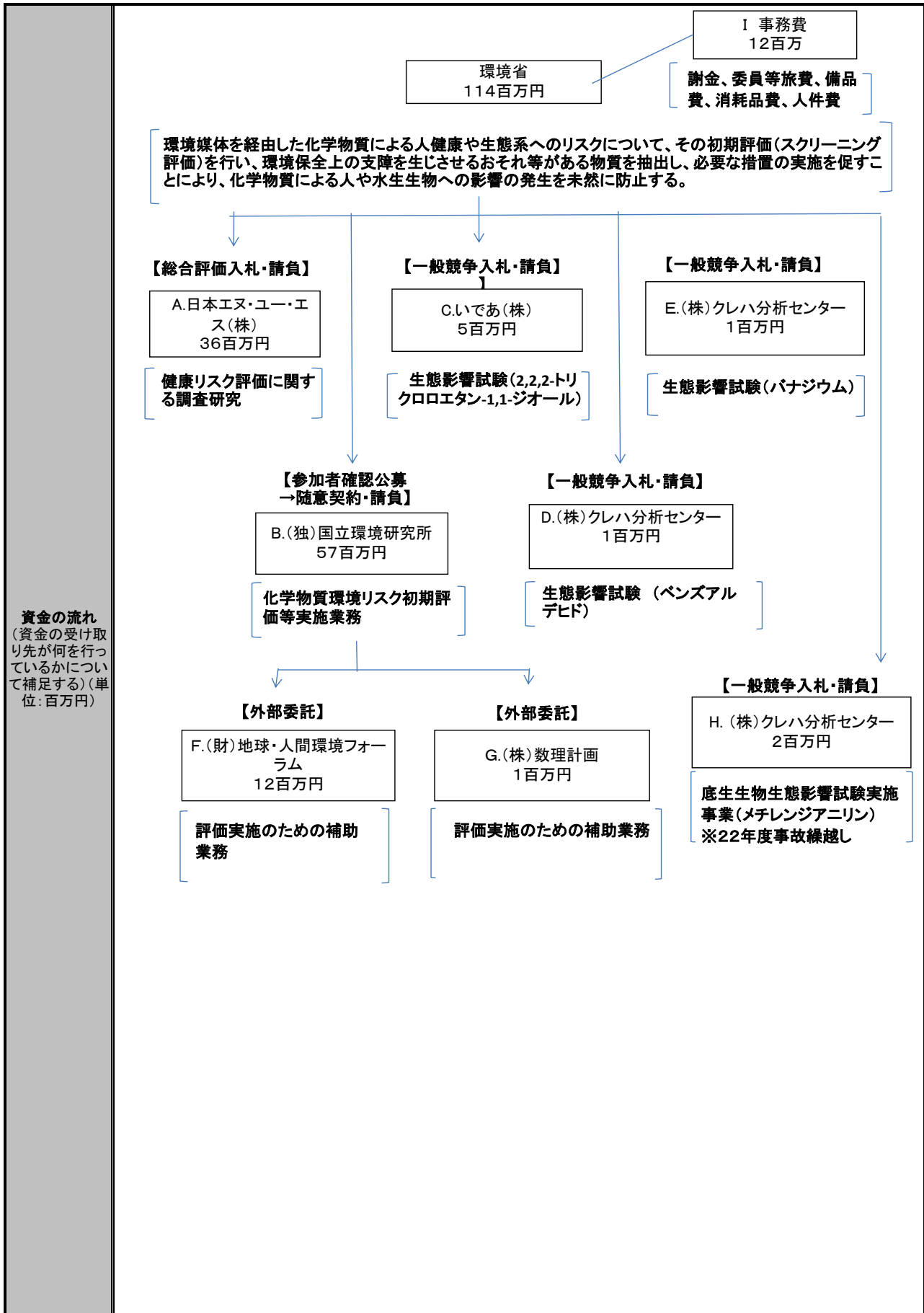


平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	化学物質環境リスク初期評価推進費	担当部局庁	環境保健部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度～	担当課室	環境安全課環境リスク評価室	戸田 英作			
会計区分	一般会計	施策名	6-1 環境リスクの評価				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境省組織令第4条第2項 環境省組織規則第12条第2項第1号	関係する計画、通知等	環境基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境媒体を経由した化学物質による人健康や生態系へのリスクについて、その初期評価(スクリーニング評価)を行い、環境保全上の支障を生じさせるおそれがある物質を抽出し、必要な措置の実施を促すことにより、化学物質による人や水生生物への影響の発生を未然に防止する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	潜在的に人の健康や生態系に有害な影響を及ぼす可能性のある化学物質に関して、それぞれの大気、水質、土壌等の環境媒体を経由した環境の保全上の支障を生じさせるおそれ(環境リスク)について、環境媒体を経由したばく露量と毒性を科学的な観点から定量的に検討を行った上で、両者の比較によるリスク初期評価(スクリーニング評価)を行う。また、この際、既存の知見が少ない物質等については、必要に応じ、ばく露量や生態毒性に係る試験・調査を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	152	151	118	80	79.8
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	△2	2	0	
		計	152	149	120	80	79.8
	執行額	114	116	114			
執行率(%)	75(%)	78(%)	95(%)				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、化学物質の環境リスク初期評価を行うものであり、成果目標としては、本事業の結果を受け、規制担当部局による、より詳細な検討、必要に応じた化学物質の管理を誘導することであるため、このような規制担当部局の誘導状況を成果指標として数値化することは困難である。	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	環境リスク等初期評価実施物質数	活動実績 (当初見込み)		23 ()	21 ()	19 ()	— ()
単位当たりコスト	5,983,812(円/物質)	算出根拠	23年度執行額を環境リスク等初期評価物質数で割った額 (113,692,430÷19)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.1	0.1	検討会の規模の昨年度実績に基づく見直しによる増額 人件費等の見直しによる減額			
	委員等旅費	0.2	0.4				
	環境保全調査費	79.7	79.3				
計	80	79.8					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・化学物質の健康、環境への影響については、国民の関心が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・競争入札により調査実施機関を選定。専門家の検討会に環境省職員が出席し調査の設計や解析等が適正に履行されたことを確認。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・本調査で得られた知見については、ウェブサイト等で公表するとともに、環境リスク管理に広く活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本経費については、関係調査内容、対象物質数の見直しなどにより、その効率的執行を図り、経費の縮減を図ってきている。今後は、調査の信頼性の確保を前提としつつ、調査内容・対象物質等について、引き続き、精査を行い、効果的な執行を図る。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>複数年に渡り継続している事業であり、各ステージにおける検討について事業内容を精査することにより、予算額を節減すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>事業実施にあたりそれぞれのステージにおいて事業内容を精査し、人件費や検討会開催数等を見直すことにより、概算要求額を縮減。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			
平成22年行政事業レビュー	209	平成23年行政事業レビュー	210



A.日本エヌ・ユー・エス(株)			E.(株)クレハ分析センター		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	健康リスク評価に関する調査研究	36	雑役務費	生態影響試験(バナジウム)	1
<p>本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。</p>			<p>本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。</p>		
計		36	計		1
B.(独)国立環境研究所			F.(財)地球・人間環境フォーラム		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	高度技能専門員	12	外部委託	評価実施のための補助業務	12
外部委託	(財)地球・人間環境フォーラム 評価実施のための補助業務	12			
物品費	消耗品費	8			
雑役務費	化学物質環境リスク初期評価等実施 業務に係る雑役務費	5			
一般管理費		5			
その他	謝金	4			
消費税等	消費税、地方消費税	3			
その他	旅費	3			
その他	印刷製本費	2			
外部委託	(株)数理計画 評価実施のための補助業務	1			
共通経費		1			
備品費	PC、外付けHDD	0.4			
通信運搬費	宅配便(委員会資料送付)	0.3			
計		57	計		12
C.いであ(株)			G.(株)数理計画		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	技師及び技術員	3	外部委託	評価実施のための補助業務	1
業務費	旅費、施設利用費、消耗品費、印刷 製本費	1			
一般管理費		1			
計		5	計		1
D.(株)クレハ分析センター			H.(株)クレハ分析センター		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	生態影響試験 (ベンズアルデヒド)	1	雑役務費	底生生物生態影響試験(メチレンジアニリン)	2
<p>本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。</p>			<p>本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。</p>		
計		1	計		2

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

I. (株)グレイス					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	平成23年度化学物質の環境リスク評価に関する調査研究等に係る派遣業務	4			
計		4	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	健康リスク評価に関する調査研究	36	2	91%
2					
3					

B.

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	化学物質環境リスク初期評価等実施業務	57	随意契約	-
2					
3					

C.

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	生態影響試験(2,2,2-トリクロロエタン-1,1-ジオール)	5	3	57%
2					
3					

D.

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)クレハ分析センター	生態影響試験(ベンズアルデヒド)	1	1	93%
2					
3					

E.

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)クレハ分析センター	生態影響試験(パナジウム)	1	1	96%
2					
3					

F.

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球・人間環境フォーラム	評価実施のための補助業務	12	-	-
2					
3					

G.

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)数理計画	評価実施のための補助業務	1	-	-
2					
3					

H.

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)クレハ分析センター	底生生物生態影響試験実施事業	2	3	48%
2					
3					

I.

	出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	(株)グレイス	平成23年度環境リスク初期評価等に係る派遣業務	4.49	1	95%
2	(株)グレイス	平成23年度化学物質の健康影響評価等に係る派遣業務	3.14	1	95%
3	(株)ケー・デー・シー	平成23年度環境リスク評価等に係る派遣業務	1.22	2	95%
4	(有)タケマエ	報告書の整理・保存のための書庫購入	0.98	-	-
5	(株)五月商会	パンフレット印刷業務	0.66	-	-
6	(有)タケマエ	机、椅子購入	0.13	-	-
7	個人A、他6件	検討会に係る謝金	0.13	-	-
8	個人A、他1件	検討会に係る委員等旅費	0.07	-	-
9	文祥堂商事(株)	電話会議用端末購入	0.06	-	-
10	(株)JCNT	海外携帯電話借上	0.04	-	-